



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 整形外科 大竹 優

【研究責任者】

聖路加国際病院 整形外科 大竹優

大腿骨近位部骨折と診断された方を対象とし、再手術が必要 となる方の特徴に関する研究

1.研究の対象

2012年1月-2020年12月までに大腿骨近位部骨折(頸部骨折、頸基部骨折および転子部骨折)に対して当院で手術を行い、1年以上経過観察可能であった患者さん

2.研究の目的・方法

骨粗鬆症関連骨折である大腿骨近位部骨折は増加の一途を辿っており、機能予後および生命予後の観点から手術的治療が推奨されております。高齢者の大腿骨近位部骨折では、手術前後で合併症を引き起こすことも多く、手術待機期間が長くなると静脈血栓塞栓症を含む合併症や術後死亡率が高くなることが報告されております。本研究では再手術のリスク因子を検討することで早期に適切な手術計画を立てることを目的とします。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 患者背景(年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙の有無、喫煙本数、既往例、手術情報、術後経過、転帰など)